

製品名: 切断型 PARP1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87630**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:113 kDa; Observed MW:24 kDa

抗原情報

遺伝子名	Cleaved PARP1
別名	PARP; PPOL; ADPRT; ARTD1; ADPRT1; PARP-1; ADPRT 1; pADPRT-1
遺伝子 ID	142
SwissProt ID	P09874
免疫原	ヒト切断型 PARP1 の合成ペプチド

背景

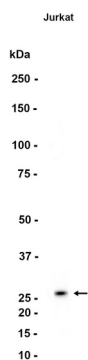
この遺伝子は、クロマチン関連酵素であるポリ(ADP-リボシル)トランスフェラーゼをコードしており、この酵素は様々な核タンパク

質をポリ(ADP-リボシル)化によって修飾します。この修飾はDNAに依存しており、分化、増殖、腫瘍形成といった様々な重要な細胞プロセスの制御に関与するほか、DNA損傷からの細胞回復に関わる分子イベントの制御にも関与しています。さらに、この酵素はファンconi貧血の変異部位である可能性があり、1型糖尿病の病態生理にも関与している可能性があります。[RefSeq提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



切断された PARP1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した、Jurkat 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。